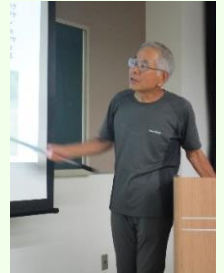


活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	ステップアップ講座「白馬・小谷の空と大地と人に魅せられて」(後編)		
開催日時	2023年7月27日(木) 18時45分～20時45分		
開催場所	船橋市 船橋中央公民館 第2集会室	FIC 参加者	13名

【活動概要】 今回は、上江洲三男さんに2月20日講座の後編をお願いした。内容は、2011年以降、毎年、定点観測を続けている小谷村、白馬村の四季の変化、多様な高山植物や地質の特性について、記録写真の紹介、さまざまなエピソードなど長年にわたる地域の観察結果もとに紹介していただいた。白馬・小谷地域を流れる姫川流域は、ほぼ中央を糸魚川＝静岡構造線が南北に走っている。また、同地域はフォッサマグナの西端にあたり、流域の東側は「新第三紀の堆積岩、火山岩類」からなり、断層の活動や熱水の影響を受け、著しく脆弱化が進む。一方、流域の西側の北アルプス側は五竜岳、唐松岳、白馬岳など白馬連峰を形成する「中・古生層これらを貫く花崗岩類を主とする古期岩類」からなる。



【今回の内容】(数字は、前編からの通し番号で記す)



5 小谷村：土倉、虫尾、千国街道塩の道…日本昔話のような里の景色。地質は、礫岩・砂岩・石灰岩が厚く堆積する。姫川中流域は河岸段丘が発達する。そこに集落が形成され独特の景観と塩の道などが出来た。



八方ケルン 2,035m 付近

6 小谷温泉、鎌池・大海川、大渚山…小谷温泉から鎌池、大渚山はブナの原生林地帯で巨木が生い茂る。大海川はヤナギ類、ハンノキ類、ミズバショウなど湿水性植物が多い。この地区は新潟県と接し、妙高戸隠連山国立公園となっている。

7 白馬八方自然研究路の植生、地質、生物など…八方尾根中部の蛇紋岩地帯は、高山植物が日本有数と言えるほど種類、数ともに多く、夏には色とりどりの花が咲き乱れる花の楽園となる。標高 770m から 2,160m までは蛇紋岩質で覆われ、鉄分、マグネシウム分が多い岩石のため、普通の植物の生育には適していない。このあたりでは高木が育たず、代わりに、いろいろな高山植物が生育している。標高 2,160m 辺りには花崗岩地帯(「有明花崗岩」)に代わり、「下の樺」、「上の樺」という、ダケカンバの樹林帯が突然出現する。これを八方尾根の逆転現象という。

8 梅池自然園の植生、地質、生物など…白馬乗鞍岳の火山活動に伴って階段状の断層ができ、梅池自然園、天狗原の平坦面が形成された。その平坦面の窪みに池ができ、ミズゴケやワタスゲなどの植物が自生した。しかし、植物が枯れても寒冷な気象条件のもとでは腐ることなく泥炭化し、その上に新たな植生が生まれ長い年月をかけて現在の梅池自然園の湿原が生まれた。



高山植物の女王コマクサ・唐松岳



アオノツガザクラの樹齢は 700～800 年・梅池自然園



やっと出会えたアクシバの花・鎌池



ハップウウスユキソウ・八方



コサメビタキの親子・天狗原



クジャクチョウ・梅池自然園



アカハムシダマシ・同左



イワシモツケに訪花したオオヒメハナカミキリ・八方

【参加者アンケートから】

・1つ1つ高山植物を写してデータベースを作られて素晴らしいです。・実際に現地に行って「見て、さわって、感じること」の大切さを再認識させていただきました。・植物と昆虫、気候や地質、幅広く知ることによって植物それぞれの生き方が見えてくる、ということがよくわかりました。・姫川流域の地形、地層の成り立ちも植生と関連づけられてわかりやすかった。・高山植物のトリビアがおもしろかった。・高山植物は成長が遅い、多年草が多い、ハエがポリネーターの6割を占めるなどおどろきでした。などさまざまな感想が寄せられた。上江洲さんの12年にわたる白馬・小谷への想い、自然環境、景観、生物、さらに、今日までつながりを感じ親交を深めてきた現地の人々への感謝の気持ちが伝わる、前編と後編ともに素晴らしい内容でした。

FIC 講師 上江洲 三男